



(添付資料2)

3. テーブルトークで寄せられた意見

21日 宮地楽器ホール テーブル1（公立保育園） 1/2

- ・パブコメの重要性を知りたい。賛成の人は意見を出さない。なぜ（この問題を）先送りしてきたのか。結果的にお金が足りなくなるのでは。
- ・なんでこうなったのか。スケジュール感を持って議論してきたのか。いつまでに決めなくてはならなかったのか。地方自治法に該当するのか。
- ・どういう状況になっているのか。専決処分の経緯はわかった。不承認となって辞職。今後どうなっていくのか。ねじれている。
- ・条例再改正して、撤回しないことになったらどうなっていくのか。議会はどう考えるのか。子どもへの影響、保育士の待遇、園庭、老朽化対策など、どんな話になっているのか。民間園が余っているが、補助金は何をどの程度となるのか。
- ・若い人は7割が保育園。市民は財源としては廃園賛成では。議論が20年以上。財源は？公共事業の話の中で、一園15億円かかる？保育園の全体計画は？市長の辞め方は無責任。議論になっていない。
- ・公立園に入っていた。廃園反対の活動をしていた。できれば残したい。

21日 宮地楽器ホール テーブル1（公立保育園） 2/2

- ・結論を出せないのは庁舎と同じ。
- ・質問に答えるだけで話し合えていない。保育士の待遇が重要。改善を。保育の質を上げることにつながる。選択肢を示すことが重要。同じ課題を抱える自治体と連携して解決してほしい。

21日 宮地楽器ホール テーブル2（庁舎建設）

- ・なぜ専門家を入れなかったのか。予算の関係も専門家であればわかるのではないか。
- ・いつ建つのか
- ・建設コストは今後どうなるのか
- ・免震と耐震で異なる構造はどうか。
- ・専門家が提案、設計しているので問題ではないと思う。
- ・障がいのある人にとって免震のほうがよいのではないか。
- ・武蔵小金井駅東側の高架下は、有効利用できないものか。傘を差さずに通れると良いと思う。
- ・庁舎・学校どちらが大切か。
- ・第2庁舎ビルは庁舎のために作ったものなのか。
- ・庁舎・新福祉会館も、市民の交流の場所である。
- ・福祉会館には、本町暫定庁舎敷地にできる計画を中止したという苦い思い出がある。
このまま新庁舎建設の目途が立たなければ、職員の意識やモチベーションにも影響があるのでは。
- ・いろいろと事情があることは理解したが、進めていくべきだ

21日 宮地楽器ホール テーブル3 (注目の予算ほか)

- ・小金井市民の所得は全国的にも非常に高かった筈だが、なぜ減ったのか。
- ・長期財政計画、特に基金残高はどのようになってゆくのか。
- ・小金井市の全体の予算は多摩各市と比べてどうか。
- ・地域応援券は印刷や郵送のために余計なコストがかかるのではないか。
- ・公的空間にWi-Fiが整備されていないせいで若者向けのイベントができない。
- ・市の職員数や議員定数は適正か。
- ・学校施設の耐震性は大丈夫か。
- ・国分寺市も大企業がないなど条件が似ているが、なぜ小金井と差がつくのか。
→駅前の賑やかさや特快が停まることで違いが出ている。
静かな環境を市民自身が選んだといえるのではないか。
- ・役所の人間をとりすぎて退職金を払うために財政が厳しくなった。
- ・政治家は選挙が怖くて増税を主張できないため、受益者負担の考え方になる。
- ・東小金井駅北口の区画整理はどうなるのか。ジブリに設計してもらえば良いのでは。

22日 マロンホール テーブル4 (公立保育園) 1/2

- ・そもそも、なぜ廃園となったのか知りたい。
- ・これからの子育て世代のために5園を維持してほしい。
- ・公立保育園の公共性が大切。自助は難しい。いろんなところに保育所があるのは大切なこと。
- ・他市に比べると70%くらいと株式会社率が多い。
- ・去年の廃園方針、びっくり。納得できない。
- ・廃園に反対。自分が働いている市内のお店に保護者の方も来る。市の説明の数字が間違っていた、漏れていたのはお粗末なこと。詐欺めいている気がする。お母さんの意見聞いてほしい保護者が“働く環境”が整う社会になると良いが、“保育園、保育園”というのも本当は反対。
不安定な雇用などで、働かないと家族を養えない状況を変えないといけない。
- ・廃園に至るまでのプロセスが不明確。お金がないは理由になっていない。
- ・利用者の声を聞くプロセスがあったのか。

22日 マロンホール テーブル4 (公立保育園) 2/2

- ・子どもが2人いて、保育園にお世話になった。子ども同士や保護者同士で息抜きし合う場も大切。保育園という存在は、少子化になるからこそ大切。専業で育児に関われる環境でも、週1でも週2でも通えるのが理想と考える。少子化だから保育園を潰そうことではない。子どもが通っている私立保育園、園庭あってよかった。満足度、私立の園の満足度やフィードバックはしているのか。
- ・行革大綱に示されていることも、改めて考えなければいけない。良い機会なので考えましょう。株式会社は利益を生む必要があるので、撤退の懸念がある。

22日 マロンホール テーブル5 (庁舎建設) 1/3

- ・小金井市の保育園で勤務している。地域でなにかできることがないか。
地域福祉ファシリテーター養成受講。地域課題を自分で見つけて取り組む。活動の場がない。
新しい福祉会館はワクワクしていたのに。地域住民が立ち上がったときに、活動しやすいようにしてもらいたい。きれいなところは人が集まりやすくなる。
- ・市民が主役となる交流の場として大切。
- ・地域ファシリテーター受講生が活動しやすい。
- ・市庁舎 & 福祉会館を早く建設して欲しい。議会が脚引っ張り出して進んでいない。腹が立っている。
- ・議員は市長の足止めをしすぎるな。民主主義は多くの意見を出し合うこと。その難しさは小金井市議会をみているとよくわかる。いい加減にしないと物事が進まない。建設費は高騰する一方だ。
- ・建設予算はいくら？
- ・いつまでに完成させるつもりがあるのか？
- ・リーダーはいないのか？
- ・災害対策上どこまで考えているのか。

22日 マロンホール テーブル5 (庁舎建設) 2/3

- ・市庁舎の建設は行政の仕事。それに議会は助言をし、予算を決めることのはず。
議会から適切な注文と助言ができているのか。
- ・なぜこんなに進まないのか。意見を聞くのは大事だけど、最終的にどこかで決めることが必要。
- ・なぜ、結論がなかなかでないのか。
- ・協議会設置は失敗であった。
- ・市議会はまとまるつもりはあるのか。
- ・財源は？
- ・複合案にこだわる必要があるのか（前市長の公約にこだわりすぎ）。
- ・福社会館と図書館をセットで作ると国からの補助金をもっとでるのではないか。
- ・建設は希望が持てる。これを具体的な形にするのは建築事務所である。
今までの経緯をみると、建築事務所の選定がおかしい。条件の付け方もおかしい。
- ・お隣の国分寺市はもう着工にいきます。
- ・行政が財源を示して、しっかりやるべきである。

22日 マロンホール テーブル5 (庁舎建設) 3/3

- ・きちんとした案をつくって、市議会がオーソライズするしかない。
- ・各会派の人たちが市庁舎をつくるつもりがないのではないか。
- ・お互いが主張しあって、キリがない。
自分たちがこういう成果を挙げたということを出議会報に載せたいだけでしょう。
- ・客観的にみればオーバーストアになっている保育園をテコ入れするのは民業圧迫になる。
- ・市報に大々的に載せておいて、こうなったのはとても残念。
- ・古い体質があることにはがっかりした。

22日 マロンホール テーブル6 (注目の予算他) 1/5

- ・ A議員の駅前のレストランを見ている。議員定数なぜ進まない。財政体質悪い。維新ではないが、他市より議員が多い。なかなか進んでいない。なぜこんなたくさんの議員が要するのか。物事が効率的に進まない。経費が多い。目に見えてやるべきことをやるべき。予算が硬直的である。早くやる必要がある。議論が進まないのを残念に思う。
- ・ 市税をどう増やすかが大事だ。難しい問題だが、所信表明や選挙公約はお金を使うことの表明はあるが、収入を増やす問題意識がない。20名近くは考えてもいないようだ。選挙の票が頭にあり、ああしろ、こうしろばかりだ。財政の骨格である収入をどう増やすかが大事だ。収入を増やし、経費を減らすことが必要だ。
- ・ 自転車にナンバー制を導入して自転車税を取る。不法投棄もなくなる。防犯登録と連動させる。1000円くらいもらおう。シルバー人材センターの撤去費用もかかっているし。受益者負担だ。
- ・ 市のインフラが大事だ。若い方々に住んでもらう必要がある。税を払ってくれる人を増やすことが必要。保育などのインフラ整備をやる必要がある。

22日 マロンホール テーブル6 (注目の予算他) 2/5

- ・ 公共施設整備計画や長期財政見通しを見たが、現実性がない。まず無理である。庁舎を建てると財政的にもたない。民間と違い、予算が足りないと税で補う。
- ・ 議員定数削減の陳情も否決。市役所の役職廃止を求める陳情も否決。みんな逃げてしまう。
- ・ 一番心配なのは予算。市役所建設は相当にきつい。
私はかつてコンサル業をやっていたが、ここまで来るととても受けられないレベルだ。
- ・ 全国の自治体は独立してやっていける所は少ない。東京都はまだいいが、地方の県は県から財源をもらえない。小金井市には危機感がない。夕張市みたいになったら、料金値上げ、サービス低下となる。大変なことになる。清掃にしても、もっと市民にやってもらえばいい。
- ・ 8年以上前から資源（紙）の持ち去りを新小金井の交番に言っているが、警察は始末書しか書かせられない。一回目でペナルティーを科すべき。微々たる収入になると思って資源を出しているに・・・。
他の自治体ではかなり対策をやっている。
- ・ 議員定数と同時に職員数の削減も必要。

22日 マロンホール テーブル6 (注目の予算他) 3/5

- ・人減らしをするとパフォーマンスが落ちる。
- ・市役所。小金井市は行政能力がない。
- ・市長に問題意識がないと物事は前に進まない。
- ・職員の意識がブラッシュアップされていない。
- ・市職員の市内在住率、他市に比べて著しく低い。下から4番目だ。
- ・昨年、JAのメモリアルセンター。説明会もなく、遺体安置場所を設けた。通常の空調だけである。まちづくり推進課に聞いたところ、「JAは安置室という表現を使っていない、建物に違法性がないので、何をしようと市は関知しない」と言われた。市長からは「再弁でもなんでもやれ」と恫喝された。議員2人には話した。
- ・市長がやめちゃって、専決処分だけが残った。次の市長がストップをかけるしかない。
- ・職員のパフォーマンス、モチベーション、質を上げる必要がある。1.5倍働いてもらう。市民の幸せのために働くのを自分の喜びとする職員を増やしたい。

22日 マロンホール テーブル6 (注目の予算他) 4/5

- ・若手職員の退職率が高い問題がある。市民のために頑張る職員の育成が大切である。スキルアップ、モチベーションアップ。市民の側も職員を育成していく必要がある。
- ・恒常的に個人市民税で成り立っている。納税世代が住み続ける「選ばれるまち」にしていく工夫や知恵が必要。
- ・中期財政計画は流動的である。結局、庁舎建設ストップで増える経費もある。コロナでは意外に税収が減らなかった。ごみの広域支援は高かったが、3市の焼却施設ができ、必要経費は抑制された。プラスマイナスをわかりやすくしてほしい。
- ・道路問題。都では神宮外苑が問題になっている。この件について外国人が述べたことは、小金井市と都についても重要だ。都は何十年も前の都市計画をやろうとしている。市議会にも都市計画マスタープランについて陳情書を提出したが、最終的にそのまま残っている。市長の役割は非常に大きい。今度市長になる人は都にしかるべくアプローチしてほしい。市議会のサポートも必要である。30年以上前の計画ありきで見直しをしないのが根本的な問題。説明会をやりながら、住民の声は聴かない。途中でストップし見直すことが必要。

22日 マロンホール テーブル6 (注目の予算他) 5/5

- ・私は市財政にもっとも関心がある。学校建設の件、予算の全体像がなぜ出てこないのか。優先順位を決めるには全体像が必要だ。卵が先か、鶏が先か・・・。なぜ市長は実績を残せないのか。目に見える公約実現が足りない。
- ・かつて福祉会館や下水道を他市に先駆けて実現した小金井市。なぜいま、それができないのか。三宅島に500本の桜を植えるプロジェクトもやった。
- ・また「先延ばし」の市政になっている。
- ・市政には心が必要である。職員採用方法も考えなくてはならない。